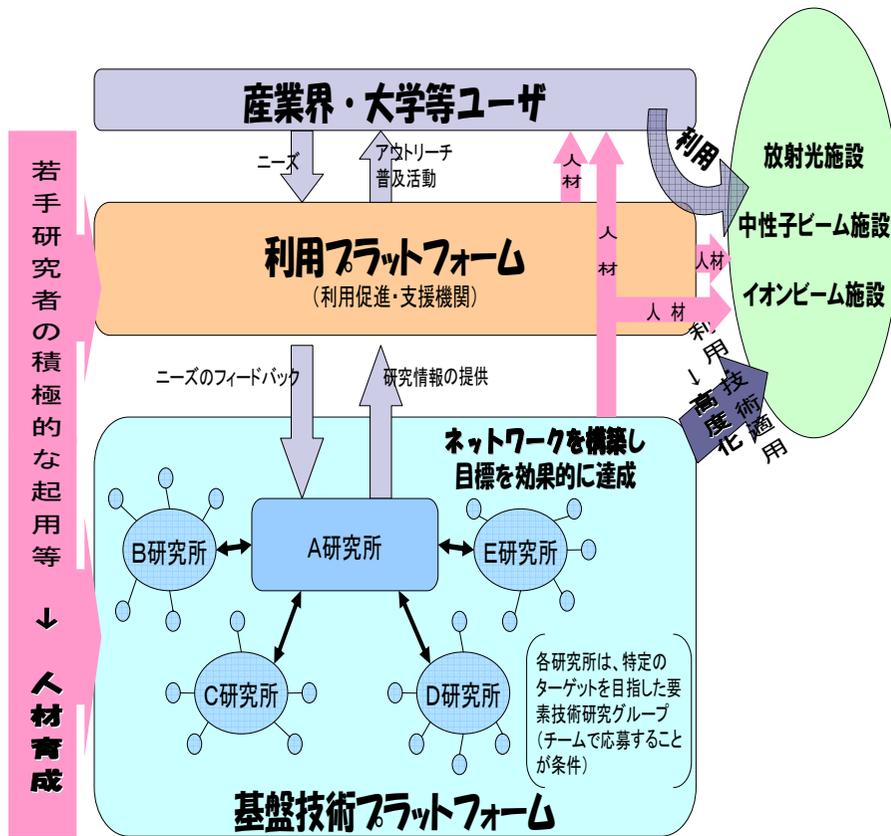


光・量子科学技術分野における基盤技術開発のためのネットワーク型研究拠点の構築 (うち量子ビーム基盤技術研究開発・人材育成事業)

◆量子ビーム技術は、製造技術をはじめ、基礎から応用に至るまでの幅広い分野で活用されている重要なツールであり、革新的な成果を生み出すイノベーションの起爆剤ともいえるべき存在。このため、先進的・革新的な加速器技術・計測技術について、「みる」「つくる」「なおす」といった視点から、応用可能性・利用可能性の幅の広い共通的な基盤技術として高度化が求められる。



先端基盤技術開発を実施

- 我が国が取り組むべき量子ビーム関連重点課題に集中投資。今後10年程度で革新的計測・加工システム等を構築するため、5年間程度で実現できる要素技術を開発。
- 取りまとめ機関を中核にネットワークを構築し、利用プラットフォームを通じて産業界等からのニーズを汲み取りつつ、研究開発を実施。
- 開発された要素技術は、共通基盤技術プラットフォームにおいてメニュー化し、産業界・研究機関の誰もが利用可能なものにする。
- 優秀な若手研究者を積極的に起用し、人材育成を図る。